

林道 大野 中根 山線 整備

大野・大沢集落の自治会有志による生活道整備（落石防止柵設置）に呼んでいただきました。大野・大沢に向かう林道大野中根山線は、雨が降った後はいつもどこかしらに石が落ちているような道ですが、市内の林道路線数が多く、公共の予算も限られている中で、十分な維持修繕を行うのがどうしても難しいのが現状となっています。そのような中、大野・大沢では、林道整備に必要な物資を市の補助事業（天竜区道整備原材料支給事業）を活用して市からの



材料支給を受け、休日を使って手弁当で継続的に林道整備を行っています。住民による定期的な見回りや落石の除去も日常的に行っていて、暮らしの生命線でもある生活道管理に努力を惜しみません。

「できることは自分たちでやる、そうすれば町の助けにもなるだろうし、信頼関係も築いていけるだろう」という姿勢に感銘を受けました。土日に声をかけて人が集まるのも、総延長二十五メートルの木柵設置を午前中で終わらせてしまうのも、「さすが」の一言です。

作業中も参加者全員が明るく声をかけつつ、それぞれが出来ることを考えて動かれているのが印象的でした。

水辺の小径（こみち） 看板整備

水窪の街の対岸にある「水辺の小径（こみち）」の看板の劣化と汚れが気になったため、山いき隊活動予算の一部を使って必要物品を購入し、許可をいただいた上で補修をしました。素人仕事で、近くで見ると粗が目立つので遠くから見ただけだと幸いですが、地域の魅力を発信したり新しい何かを創造したりするような攻めの打開策に焦点が当たることが多いように思います。もちろんこれは大事なことでだと思えますが、機能していないものを更新したり、良くないイメージを与えてしまう可能性があるものをできる限り改善したりなど、マイナスをゼロに引き上げるような、そういう取組にも目を向けないといけないとは思います。とはいえ、ハード面でもソフト面でも、一度作ったものに対して管理や更新を継続的に行うのは大変なことですね。



SAKUMA TOWN

Suzune
Kanata

■特集■ 地域で頑張る山いき隊

金田 鈴音（かなた すずね）さん

令和四年七月活動開始。佐久間町出身。高校生までを佐久間町で過ごす。現在は静岡文化芸術大学に学生として通う傍ら、山里いきいき応援隊に所属。趣味は旅行・地域散策など。

Q 隊員になったきっかけは？

大学の活動を通して地域に関わることも多かったのですが、コロナ禍のため思うように大学の活動ができない状況が続いていました。その間も地域活動に参加するために一人として中山間地域に足を運んでいました。在学中の早い段階から卒業後の就職先についても色々選択肢を考えて頭を悩ませていましたが、「もう少し突き詰めて深いところで地域に関わってみたい」という思いが強くなり、山いき隊に応募しました。地域の先輩が山いき隊になっていたり、大学の先輩が在学中に県内の地域おこし協力隊になっていたりすることも背中を押してくれる要因となりました。

Q 隊員活動について教えてください

まずは顔を覚えてもらうために地域の集まりや各地域で行われるサロンなどに積極的に足を運んでいます。小学校や高校で児童・生徒たちと交流したり話し合いをしたりするような活動も経験しました。いつか地域でイベントを開催してみたいです。地域の人が地域をもっと好きになれるようなイベントを企画できたらいいな、と思っています。



龍王権現の滝にて



くくり畠実践

Q これからの地域に期待することは？

もっと世代間交流を活発にしていけたらいいな、と思っています。私自身、今まで地域の先輩方にたくさんお話を教えてもらってききましたが、そのどれもが自分のためになることばかりでした。今はそういった、若者と地域が交流できるような場所が少ないので、世代間で広く交流ができるような場があるといいですね。

Q 水窪の人たちにひとこと！

水窪には大学の活動を通してお世話になった方々もいらっしゃるし、まずは「お久しぶりです」とあいさつしたいですね。佐久間での活動に慣れてきたら水窪の隊員とも協力して何か活動ができたらいいなと思っていますので、今後ともよろしくお願いします！

筆者 後記

大学に通いながら隊員活動をするという金田さんの決断は勇気のいるものだったと想像します。将来のことを深く考えて、数ある選択肢から今の道を選んだことは、それ自体に価値があると思います。これからも慣れ親しんだ地元佐久間町で、地域の方々と共にさらなる経験を積まれていくことを期待しています！